

『いのち・いじめについて考える日』感想文（漢字・表現等で修正している部分があります）

●命がどんだけ大切なのかは知っていたけど、こんなにも命で苦しめるのはあまり知らなかったから、これからも命の大切さを知っていく。いじめは、小学生だけじゃないから、いじめで困っている子がいたら相談などを聞いてあげる。最後の動画みたいに、何でもチャレンジしてがんばる。

●いのちはつながっているものだ分かった。病気で亡くなってしまう子もいるけど、その思いが他の方々のいのちにつながる事が良く分かった。交通事故などで亡くなってる方も多かったので改めていのちの大切さが分かった。いじめは大人になってもあることを知った。だけど、いじめを許さず、いじめに負けず、いじめから守るという思いを覚えておきたい。最後の動画で仲間の大切さが分かった。

●まず、いのちについて考えて思ったことは、誰もがいのちや体は健康なんじゃなくて、病気で苦しんでいるということが分かった。いのちは大切と改めて思った。次はいじめについて考えて思ったことは、いじめは絶対にしてはいけないことで、いじめをやられたら、大人に相談しようと思ったし、動画の通りのみんなで支え合う学級になりたい。

●私は、お話を聞いて思ったことが二つあります。一つ目は、大人のいじめです。いじめは、子どもにしかないと思っていたけど大人にも困っている人がたくさんいるのが知れたことです。二つ目は、命についてです。今日のお話で小さい子が重い病気と闘っているのを知りました。生きたくても生きれない子がたくさんいる事が分かったので、病気もなく命を大事にしたいと思った。

●命についてのお話を聞いて、今も病気と闘っている人を応援したいと思ったし、これからも自分の命と一緒に生きていく事を大切にしたいと思った。今、生きている事の幸せを感じた。いじめについてのお話を聞いて、身近にあるいじめが一刻も早くなくなしてほしいと強く思った。これからも、いじめを絶対にしないと思った。

●校長先生のお話を聞いて、私は色々な事を知りました。小さい子は亡くなってしまったけれど、同じ病気がある子どもを2人も助かった事やガンの子もがんばって卒業式に出られたのすごいいいと思いました。校長先生が言っていたように、命がつながらなかった子もいるが命がつながった子もいると。そんな中で、職場でいじめがおきると言う事は、いじめをする人は命の事を考えていない、自分の事だけを考えている最低な人なんだと思います。最後の映像を見て私は感動しました。理由は、何回もがんばって挑戦したけどできないので、円陣で応援したら達成。これはすごい事で感動しました。私もみんなを励ませる団結できる子になりたいです。

●私が「いじめ」や「いのち」について思ったことが2つありました。1つ目は、校長先生から「ガンの少年」という写真を見ました。ガンの少年の子は、病気を持っていてずっと入院していた。ある日、ガンの少年は、卒業式に出られて嬉しくて涙をこぼしていました。

【先生と香簗っ子の約束】「いじめ」は許さない。「いじめ」は絶対にしない。【まとめ】いのち…これからも病気にならないように健康に過ごしたいと思った。いじめ…どんな理由があってもいじめはしない。もし、いじめられている人がいたら声をかける。

●私は、いじめという言葉は知っていたけれど、いじめられている子ども達はどうやって相談するか分からなかったけど、一人一台端末を使って心の天気で相談することも出来るし、LINE で相談することも出来るなんて知らなかったの、新しい気づきだった。それに小中学校で子ども、生徒でのいじめだけでなく大人でも会社等でのいじめもあるのだと知らなかったの、これも一つの新しい気づきだった。最後の動画は、温かく優しい子ども達だった。友だちの応援はこんなにもスゴイのだと分かった。応援は、一つの力となって達成したときは、とても感動した。いつか自分も誰かを助けられる人になれたらいいなと改めて思った良い学習だった。

●事件や事故にまきこまれて亡くなった子は、とてもかわいそうに思う。また、ガンでずっとベッドで寝込んでいたけれど最後の卒業式に出られて良かったと思う。

●ぼくは、いじめを見たら、している人を止めます。そして、されている人に話を聞きます。(いじめをしている人がいじめを止めなかったら先生に言います) また、内容によっては先生に言います。(暴力など) そして、いじめをしている人に話を聞き、いじめを止めるように言います。そして、いじめが続いている場合は、先生に言ったり、「心の天気」やいじめアンケートに書いたりして先生に知らせます。

●私は、校長先生のお話を聞いて思ったこと。はじめ大谷選手が小さい子を抱っこしている写真が出てきて校長先生が「小さい子はチューブを鼻にしている」と言ってて、私はすごくかわいそうと思ったし、亡くなったって言っていた。次に校長先生が大人でもいじめが約八万人もいるって言っていました。私は、大人でもいじめがあるなんて知らなかったです。そして、校長先生のお話は、とても大切なんだと知ったし、生きていくのが苦しい人もいますと思いました。

●まず思ったことは、いじめは絶対、ケンカもなくそうと思いました。次に、いのちは絶対守らないといけないことが分かりました。もし、病気にかかってもがんばって治そうと思いました。なぜかという、いじめやケンカは、心を傷つけたりするし、いのちがないと生きていけないからです。

●ぼくは、校長先生の話聞いて、いのちといじめの事が分かった。たぶん、みんなもしないと思います。休み時間にいじめとケンカとかしないと思います。感想文を書いているので、ケンカとかいじめはしないから休み時間にケンカとかしない楽しい学年にできると思う。

●私は、校長先生のお話を聞いて、とてもいのちが大切なんだな—と思いました。いじめやケンカは、とても傷つくんだな—と心の底から思いました。自分がされて嫌なことは、絶対にしないって言う意味がやっと分かったから休み時間、ケンカを少なく無くしたいから、みんなで協力したらケンカが少なく、無いクラスになると思う。

●自分のいのちを大切に。交通事故にもあわないようにする。

●いのちは、とても大事なんだね。いのちは、大事だから自分のいのちは守る。

●自分のいのちを交通事故で亡くさないように左右をちゃんと見る。友だちのいのちを亡くさないようにする。

●病気で亡くなったらしょうがないけど、事故で亡くなったらざんねん。子どもが先に亡くなったらお母さんとお父さんが悲しい。